

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586017701	科目番号 / Subject code	05860177
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 13321_005		
授業科目名 / Subject	国際社会を理解するための多様な視点 (国際的視点に立った法と政治) / Law and Policy from the Global Viewpoint		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	嶋野 武志 / Shimano Takeshi, 松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	嶋野 武志 / Shimano Takeshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	嶋野 武志 / Shimano Takeshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化社会学部, 教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shimano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	産学官連携戦略本部		
担当教員TEL / Tel	095-819-2229		
担当教員オフィスアワー / Office hours	11:00?17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人間が集団生活を営むためには、様々な決まりやルール、即ち法を定めておかなければならない。しかも、国際的交流が飛躍的に増加すると考えられる21世紀においては、自らが生活する国・地域の法のみならず、異なる歴史・文化を有する国・地域の法についても理解できる能力を養っておくことが重要である。 この科目においては、国際法に関わる交渉に参加した経験を有する教員の指導の下、そもそも法とは何かを学んだ上で、他の国・地域の法、さらには国際社会を規律する国際法を概観し、法の多様性を理解するとともに、そうした法を生み出す場である政治の現実についても学ぶことを通じ、グローバル化が進展する世界において必要とされる人間の多様性を理解することのできる能力を養う。		
授業到達目標 / Goal	法や政治の問題を考えることを通じて、法、さらには人間の多様性を理解しうる能力を身に着けることにより、そうした多様性を前提としながらも、社会を安定的に営んでいくために必要な「利害調整能力」の基礎を確立する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	法や政治の問題を考えるのに際しては、まず基本となる知識が不可欠なため、基本的には講義形式を採用するが、法や政治に関わる問題が如何に身近なものであるかを実感してもらうとともに、現実の問題に対して、如何に多様な解決方法があるのかを知ってもらうために、具体的な例を討議するグループディスカッションも行うこととする。		
授業内容 / Class outline / Con	可能な限り関連時事問題の解説を行うので、以下の予定を変更する可能性があることに留意されたい。 また、受講生の人数を踏まえたグループディスカッションの導入も検討するため、その関連での変更もありうることを申し添える。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎日、新聞を読むことを勧めたい。また、必要に応じて、書籍を紹介する。		
キーワード / Key word	法、法の背景としての歴史・文化、法を生み出す政治、利害調整、多様性		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし。(但し、授業開始後、必要に応じて指定することはある。)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート及び試験を通じて行う。 法、さらには人間の多様性を理解する態度が見られるかどうかを特に評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし。(但し、我が国の法が重要な題材となるため、日本語を解せることが望ましい。)		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	特になし。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入部分として、そもそも法とは何かを学ぶ。 まず我々の生活や社会のどのようなところに法が登場するのか、そうした法はどのように形成されるのかを学ぶ。		

第2回	法についての様々な思想や歴史を学ぶ。 これにより、法とは誰かから与えられるものではなく、社会が生み出していくものであることを理解する。
第3回	民事に関する法について学ぶ。(民事法1) まず財産法について、身近な取引や契約、交通事故に関わる損害賠償などの実例について、どのような問題がどのように解決されているかを学ぶ。
第4回	民事に関する法について学ぶ。(民事法2) ここでは、家族法について、結婚・離婚、相続などの実例を通じて、どのような問題について、どのような解決が行われているかを学ぶ。
第5回	次に企業活動に関する法について学ぶ。 ここでは、企業とは何か、企業は誰によってどのように作られるのか、その取引においてどのような問題が生じるのかについて学ぶ。
第6回	刑事に関する法について学ぶ。 人が罰せられるのはどのような場合か、何故罰せられるのか、罰する場合の手続はどのようになっているのかなどを知ることにより、刑事法の基礎を学ぶ。
第7回	国家に関する法である憲法・行政法を学ぶ。 ここでは、国家の運営、国家と国民の関係などについて学ぶ。
第8回	その他の法について学ぶ。 労働法や環境法など、現代において重要性を増している分野の法を紹介する。
第9回	第7回が終了した時点でレポートを作成し、そのうちのいくつかを題材として議論を行う。 これにより、国内法に関わる問題であっても、極めて多様な考え方が成り立ちうることをあらためて実感する。
第10回	次に、英米法やヨーロッパ法など、代表的な外国法を概観する。これにより、歴史や文化が異なる国・地域では、類似の問題であっても、異なる解決が行われることを理解する。
第11回	国際社会を規律する国際法について学ぶ。 国内法と国際法の共通する部分と、紛争解決システムなどの異なる部分を理解する。
第12回	法に対する一定の理解を前提に、法を生み出す政治の現実を学ぶ。 まず身近なところとして、国内法について、現実に如何なる「利害調整」が行われているかを学ぶ。 また、グループワークの実施を検討したい。
第13回	ここでは、我が国の政治史を概観し、法を生み出す政治における「利害調整」のあり方も時代により異なることを理解し、法、さらには人間の多様性を学ぶ。 また、グループワークの実施を検討したい。
第14回	国際法を生み出す国際政治の現実を学ぶ。 特に、各国の利害が正面から衝突する国際通商交渉を例にとり、国際的な場で如何なる「利害調整」が行われているかを学ぶ。 また、グループワークの実施を検討したい。
第15回	国際政治についても、時代により、地域により、様々な「利害調整」が行われてきたことを知り、法、さらには人間の多様性を学ぶ。 また、グループワークの実施を検討したい。
第16回	試験を行う。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586027901	科目番号 / Subject code	05860279
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	国際社会を理解するための多様な視点 (グローバル人材へのリテラシー~グローバル人材 2.0~) / Global Literacy - Passage to the Global Innovator (Global HRD 2.0)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	daisuke-matsushima nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室 / Laboratory	教養教育棟B棟2階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL / Tel	内線 2454		
担当教員オフィスアワー / Office hours	原則水曜日10:30?12:00ですが、面談を希望される方は、必ず、事前にメールでアポを取ってくだ さい		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	グローバル人材の定義を、トランスナショナルな課題解決型・案件形成型人材(イノベ?ター)と明 確に定義したうえで、その資質を見える化したうえで、段階的な能力構築に向けた階梯を説明する 。		
授業到達目標 / Goal	受講者にとって、今後、真のグローバル社会の一員として、ふるさと(ローカリティ)の強み(ク ラスタ)を活かして、力強く生きるための展望と、今後鍛えるべき知的筋力の在り方を習得する 。大げさにいえば、「生きる道しるべ」となる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	主体的な学習 (アクティブラーニング) を中核に据え、受講者の理解を血肉化する。		
授業内容 / Class outline / Con	三部構成。第1部はグローバル人材2.0について、その内容を説明、第2部は世界を俯瞰する課題発見 型アプローチを行い、理解を深め、第3部でこれらを纏めて総括を行う。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	プレゼンテーション等の準備		
キーワード / Key word	グローバル人材2.0、グローバル、グローバルリテラシー、イノベーション、トランスナショナル		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『空洞化のウソ』講談社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	1) クラスへの参加と貢献、宿題準備、演習への参画、プレゼンテーション : 30% 2) 最終の小テスト : 20% 3) レポート : 50%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	意欲のある方		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	https://courrier.jp/columns/76622/		
学生へのメッセージ / Message for students	真のグローバル人材を目指す方はぜひお越しください		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586028301	科目番号 / Subject code	05860283
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	国際社会を理解するための多様な視点 (グローバル化時代の社会問題) / Social Problems in the Age of Globalization		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki, 松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	Ed, Ec, Ph, Fi, SGHSS		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する場合は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	Liaison Center for International Education		
担当教員TEL / Tel	095-819-2253		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thursday 16:30-17:30 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	This course introduces students to the major sociological perspectives on various social issues arising from globalization. Topics include the globalizing economy and its impacts on the workplace, social inequalities, spread of consumer cultures, international migration and refugees, ethnic and religious conflicts, foreign workers and their families, and global environmental problems. Students will examine these issues in depth through examples.		
授業到達目標 / Goal	At the end of this course, you should be able to: (1) explain what issues have been brought about by globalization. (2) discuss global social issues using historical and theoretical perspectives. (3) explain the background of global movement of people. (4) describe the current situations of immigrants and foreign workers.		
授業方法 (学習指導法) / Method	lectures, videos, group discussions and presentations, quizzes, mini reports, etc.		
授業内容 / Class outline / Con	In order to critically read news articles, you will learn topics such as global economy, social inequality, ethnic minority, and international migration.		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Preparation: Read newspapers and watch TV news about world affairs regularly. Review: Search further information on the news and topics that you have learned in class.		
キーワード / Key word	global sociology, neoliberalism, international migration, social inequalities		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Not specified.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Weekly quizzes on LACS (50%) In-class group work and mini reports (50%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	Get yourself familiar with LACS beforehand.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
November 28	The Making of Global Society		
December 5	The Globalization of Economy and Work		
December 12	Global Inequalities		
December 19	Migration in the Age of Globalization		

January 9	Immigrants, Foreign Workers and their Families
January 16	Globalization and Consumer Culture
January 23	Sustainable Development and the Environment
January 30	Human Securities and Global Citizens

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586028301	科目番号 / Subject code	05860283
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	国際社会を理解するための多様な視点 (グローバル化時代の社会問題) / Social Problems in the Age of Globalization		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki, 松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育, 経済, 薬学, 水産, 多文化社会		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2253		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜16:30?17:30, 又はメールによるアポイントメント		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	グローバル化社会が直面する諸問題を理解するために必要な社会的教養を磨くことを目的とする。国民国家の変容、経済のグローバル化、社会的不平等の拡大、消費文化の拡散、国際人口移動と難民、民族や宗教の違いから生じる摩擦、移民とその家族、途上国の貧困、グローバルな環境問題などについて、具体的事例を使って概観し、それらに関わる概念や解釈の仕方を習得する。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化社会の基本問題とは何かについて自分の考えを述べることができる ・グローバル化時代における様々な社会問題について歴史的及び理論的視点から議論できる ・国境を超える人の移動に関する傾向やその背景を説明できる ・日本や他国に在住する国際移住者や外国人労働者の現状と問題点を具体的に例示できる 		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義、ビデオ教材、グループ学習及び発表、クイズ、ミニレポートなど		
授業内容 / Class outline / Con	グローバリゼーションによって生じる社会的課題を日常のニュース記事の中に読み取るコツをつかむために、グローバル経済と格差、マイノリティ問題、国際人口移動などについて、社会的知見とキーコンセプトを用いて考察する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習：外国のニュースを見たり、新聞を読むなど、日ごろから海外事情に興味を持つ 事後学習：授業で紹介した諸外国の事情について、自分でさらに詳しく調べてみる		
キーワード / Key word	国際社会学、新自由主義、国際人口移動、格差と不平等		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回授業終了後LACS上で実施するオンライン・クイズ (50%) 授業中のグループ学習と発表、及びその内容を各人でまとめてLACSに提出 (50%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	LACSの使い方に慣れておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1 1月28日	グローバル社会の成立?グローバル化とはどのような現象か		
1 2月5日	経済のグローバル化と雇用の変化		
1 2月12日	グローバル社会におけるさまざまな不平等の形		
1 2月19日	グローバル化時代の国際人口移動		
1月9日	移民、外国人労働者とその家族		
1月16日	消費文化のグローバル化		
1月23日	グローバル化と持続可能な未来		

